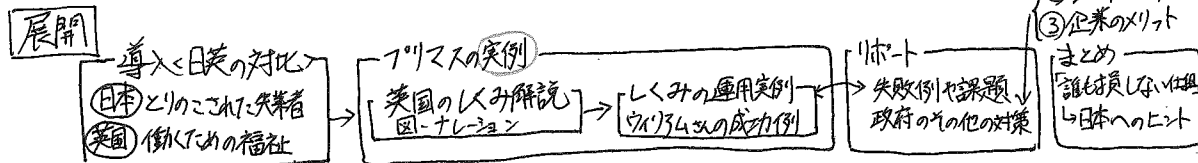


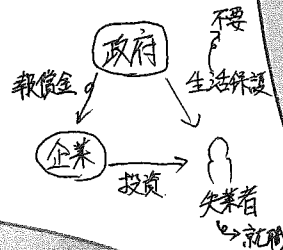
番組の特徴的場面
7PMの失業者の後のレポートより詳細な情報や実例は逆の例をあげて説明を加える。多面的な分析

意図: イギリスの成功例から日本の打開策を考える。
テーマ: イギリスの失業率はなぜ減少したのか。

内容・視点: イギリスの失業対策の内容と結果
(政府の立場から見た対策、失業者から見た対策の性格、就職指導員から見た失業者の再就職の現実)



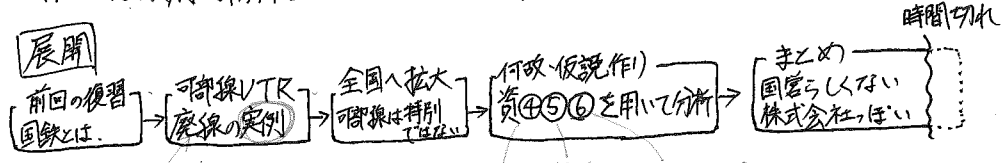
- 演出
- ・仕組み説明と事例で解説。成功だけでなく失敗や課題も挙げる(複数の視点)
 - ・政府、失業者、企業の視点など多面的分析。事案のみ情の部分は含まない
 - ・スタジオはあくまで進行とまとめの役割。視聴者に考える材料を与える番組
 - ・音楽は、オープニングのみ。図解で解説し、分かりやすく伝える。
 - ・本論「日本の失業率の増加」 ↔ 内容「イギリスの失業改善」
他の材料から本論を考える。



- ・資料、仕組みの説明と事例で解説・理論分析
- ・考える材料を与えて、分析させる。/ 考えさせる内容
- ・他の話題から、本当に考えた内容へ近づけていく。

目標: 資料を用い、廃線の誤を考える。国営から民営へ
MQ: 日本の交通ネットワークはどのように変化していったのか

内容・視点: 何故 細の目型の路線を廃止したのか(←前回の授業と対比)
小さな政府への移行し、民営化する国鉄。資料を多く活用する力を養う。



指導法: 3つの資料を用いて多面的分析を行わせる。生徒に考えさせる授業
①VTRは事実のみを伝え、それに関わる人々の思いはごぼらない。

授業のヤマ場

資料を活用し仮説をたてる。
↳理論的に分析し理由を考える。

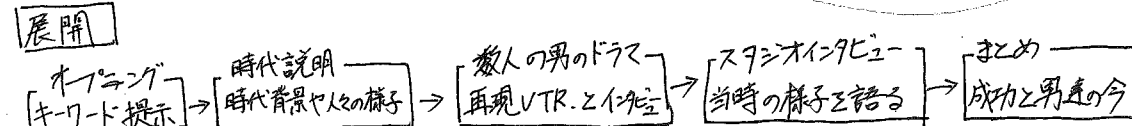
- ・事例と理論・資料から分析を行う。
- ・7-7シートを用いた指導。
- ・リソリティよりも資料による正確さを重視。
- ・グラフや表を用いて変化を生徒にAVLで感じさせる。
- 本論「国営から民営へ」 ↔ 内容「ローカル線の廃止」
ローカル線の話から本論を考える。

↳利益追求、株式会社、ほくはない?

番組の特徴的場面
感情にうたえる様子演出
再現VTR、本人登場
多くの困難からの成功
人情(利用者・母・男達)

意図: 大和運輸の成功例から努力と人情を学ぶ。
テーマ: どのように「物流革命」をおこなったのか ~ 背景にある努力 ~

内容・視点: 倒産寸前の会社の努力と困難、成功と人情
社長とドライバー兼営業マンの努力と情、工夫。
大和運輸が成功へと進んでいくストーリー (←1面的)



- 演出
- ・再現VTRや当時の映像で感情移入させる。努力と失敗のくり返しと情の話。
 - ・スタジオで当人から話をきくことでリソリティを出す。最初から大和運輸の成功への1面的ストーリー。
 - ・結論は決まっておき、そこに導いていく。
 - ・感情にうたえるため、VTRと連動した音楽を使用。
 - ・グラフや詳しい理論、仕組みは説明しない。
 - ・詳しい苦労話や心情描写、当時の思いを放送。

過疎地への思い
許可証の苦労
届けられなかった荷物
電急便が伝わる

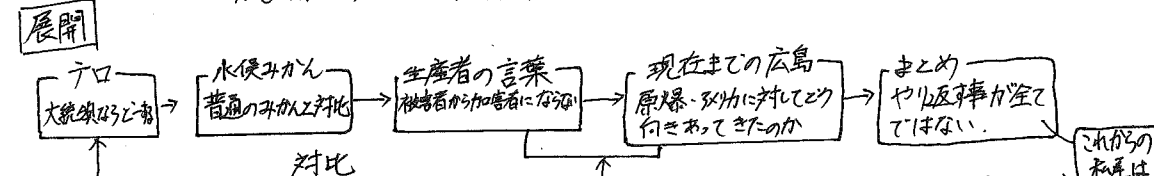
成功して結論・成功後のストーリー (母の思い出、その後の大和運輸)

- ・ストーリー展開 / 努力・人情(感情型)
- ・伝えたい最後部分へ1つのストーリーで導いていく。
- ・当事者の思いに焦点をあてて構成・リソリティ。

目標: 水俣のみかん農家の人々の生き方を学び、私たちの生き方を考える。(指導案あり)

MQ: 3つの同時多発テロへの対応と別の生き方とはどんなものか(←水俣のみかんにこめられた願い)

内容・視点: 同時多発テロと水俣のみかんから広島を考える。
・どんな思いで、みかんを生産してきたのか(←テロとは違う新しい生き方)
・広島はどんな姿勢で戦後をすごしてきたのか。



指導法: 小学校の知識の復習(教科書)。手紙の大事な所を既読(→VTRから見つける)
①VTRの中で実際の農家の努力や思いをきく。1見バラバラに見えるものを1つのストーリーでつなげる。

- ・最後に伝えたい事へ生徒を導いていく。
- ・班で話し合い、黒板で発表、全員発表を意識。
- ・先生によるものも、農家の言葉で水俣の思いを伝える。
- ・生徒から挙がった意見と、水俣の人々の意見を対比させることで印象付ける。

生徒の身近な所で結論(これまでの広島県民の思い) → これからは?

授業のヤマ場

みかん生産者の言葉
「被害者になっても加害者になりたくない」

3つの姿勢 → 広島の姿勢 → これからの広島は?